

令和2年度の学校評価

| <p>令和2年度の重点目標</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1 新学習指導要領の趣旨を職員間で共有するとともに、共感的な生徒理解のもと、アクティブラーニングの視点を取り入れた授業改善を学年会や教科会で検討し進めていく。 2 生徒の自己理解を深め、主体的に取り組むための支援の充実のために自立活動を含めた個別の指導計画を活用した適切な指導の充実と評価の改善を図る。 3 学校評議員や保護者、関係諸機関や地域との連携をさらに強化し、社会に開かれた教育課程の実現のために、積極的な地域の資源の活用を検討し、学校経営や具体的な教育活動の改善を図る。また、ホームページを充実させ、学校の情報を積極的に発信していく。 4 職業生活に必要な「挨拶」「報告」「質問」等が適切にできるように指導する、 5 生徒の心身の健康を保持・増進するため、全職員が健康教育の充実にも努めるとともに、事故防止などの安全指導にも配慮する。また、働き方改革に向けた業務改善を進め、ライフワークバランスがとれる教職員の意識の醸成を図る。 | | |
|-------------------|---|---|--|
| 項目(担当) | 重点目標 | 具体的方策 | 留意事項 |
| <p>総務部</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・学校要覧の更新 ・ホームページの充実と活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校要覧のリニューアルに向けて取り組む。 ・行事の案内や生徒の活動の様子をホームページで公開する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・他校のものも参考にしつつ、本校の雰囲気や生徒の様子が伝わる構成になるよう工夫する。 ・行事の案内をホームページに公開し、積極的に活用する。年間を通して計画的に記録写真を撮り、随時更新していく。 |
| <p>教務部</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・個別の指導計画の充実 ・校内研究の推進と、現職研修の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・本校生徒の実態に合わせた授業の方法や配慮事項を表にまとめる。 ・その表を個別の指導計画に生かす。 ・自立活動の年間予定を立て、時間を確保するとともに、研修部と合同で研究を進める。 ・カリキュラムマネジメントの視点を取り入れながら、自立活動に重点を置いた授業改善を実施する。 ・現職研修を有効的に活用し、職員同士の意思疎通の場や、深い学びの場にする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・一方的にまとめるのではなく、教科会を中心に幅広く意見を集約する。 ・個別の指導計画を個人が入力して終わりにするのではなく、教科会で見直しを行い、全員で確認できるようにする ・研究推進委員に自立活動主任も加わり、進め方を検討する。 ・結果だけでなく研究の途中経過を全職員に提示し、学校全体で取り組むようにする。 ・過去2年で積み上げてきた研究への取り組み方を参考にしながら、全職員が研究に関われるように、話し合いや情報共有の場を多く設定する。 ・校内研究のテーマに沿った内容の研修を取り入れていき、職員の意識が高まるようにする。また、外部講師も積極的に本校に招き、新しい情報を含めた、充実した内容の研修を実施する。 |

| | | | |
|-----------|---|--|--|
| 指導部 | <ul style="list-style-type: none"> インターネット SNS の適切な使い方について指導を行う。 防災設備の充実と防犯・防災訓練の改善 | <ul style="list-style-type: none"> 不適切な書き込み、学校または個人が特定できる写真を SNS 上で発見した場合に、匿名で投稿できるボックスを設置し、対象生徒に対し、正しい使い方について個別に指導を行う。 水害を想定した防災訓練の計画・実施。飛散防止フィルムの設置。 | <ul style="list-style-type: none"> 誹謗中傷する内容の書き込みや個人が特定できる写真の投稿が増えているため、生徒間でお互いに見守り、意識を高めることで、不適切な投稿を減らす。 水害に対する防災訓練を行うことで、防災意識の向上を図る。 |
| 保健 体育部 | <ul style="list-style-type: none"> 社会自立、職業自立につながる継続的な健康教育 | <ul style="list-style-type: none"> 健康教室（食育）の充実 心身の健康のための体制づくり | <ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病の予防について外部講師を招いて、日常生活で必要なこと等について学ぶ機会とする。 心の相談を通して、心のケアに必要な生徒に相談の機会を提供し、相談の体制を整える。また、情報を保健室、学年、分掌等と共有して、連携を密にしていく。 卒業後も継続的に運動習慣を身に付けていけるよう、朝のトレーニングの内容を見直す。 |
| 進路部 | <ul style="list-style-type: none"> 卒業後を見据えたキャリア教育 | <ul style="list-style-type: none"> 就労支援を考える会への参加を促す。 先輩に学ぶ会の企画 | <ul style="list-style-type: none"> 卒業後に起こりうる問題について、愛知県教育委員会就労アドバイザーを招いて、具体的に気を付けることについて学ぶ。 卒業生から働くことについて話を聞くことで、今後の職業観・勤労観について意識を高める。 |
| 寮務部 | <ul style="list-style-type: none"> 余暇活動の充実 | <ul style="list-style-type: none"> 下校後の生活を見直し、余暇活動にゆとりがもてるようにする。 余暇活動の時間の中で、自分で考えて活動する時間を設け、有意義に過ごせるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> 洗濯を毎日行うようにし、余暇時間を昨年度より多く確保する。 卒業後の生活、自立を見据え、各自で余暇活動の内容を考えることができるようにし、取り組める時間を設定する。 |
| 1年 | <ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の確立を図る | <ul style="list-style-type: none"> 挨拶、返事、報告を丁寧な言葉で確実にを行う。 時間を意識し、何事にも一生懸命取り組む。 | <ul style="list-style-type: none"> 誰に挨拶をしているのか分かるように、職員が、名前を言ってから挨拶をして、挨拶することが自然と身に着くようにする。 予定の確認をしたり、活動にかかる時間を考えたりして、見通しをもって活動に取り組むようにする。 |

| | | | |
|--------------------------------|--|--|---|
| <p>2年</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・行事や実習に向けた主体的な取組 ・礼儀やマナーの向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・体験実習や体育祭などの行事や実習に主体的に取り組むための支援の充実 ・礼儀の意識を高め、生活の中で確実に実践するための支援の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が自らの課題を意識して体験実習に臨むことができるよう、自己課題の確認を早い時期に行い、日頃の授業の中で実践を積み重ねていく。行事に関しても、先輩として見通しをもって取り組むことができるようにする。 ・相手に伝わる挨拶、返事等を意識して行えるよう継続して言葉掛けをし、実践を促す。 |
| <p>3年</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・社会人生活に向けた生活習慣の確立とルールやマナーの徹底 ・生徒一人一人の実態を踏まえた、適切な進路選択・決定 | <ul style="list-style-type: none"> ・現場実習や卒業後の社会生活を見据え、保護者との連携を図り、生活習慣の確立とルールやマナーを守る態度について、自ら見直すことができる支援を充実する。 ・生徒一人一人の実態や適性を把握し、職種や仕事内容、通勤時間等を具体的に示しながら、適切に進路を選択・決定する支援の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・日常から元気よく挨拶するように言葉かけを行う。 ・携帯電話の使い方など、必要な情報を伝え、トラブルに巻き込まれないように促す。 ・進路について、生徒と保護者と密に相談をして、生徒にとってよりよい進路選択ができるように情報交換を行う。 |
| <p>学校関係者評価を実施する 主な評価項目</p> | | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒個々の能力・実態を把握したうえでの適切な進路指導委について ・健康教育に関する取組について ・開かれた学校に関する取組について | |